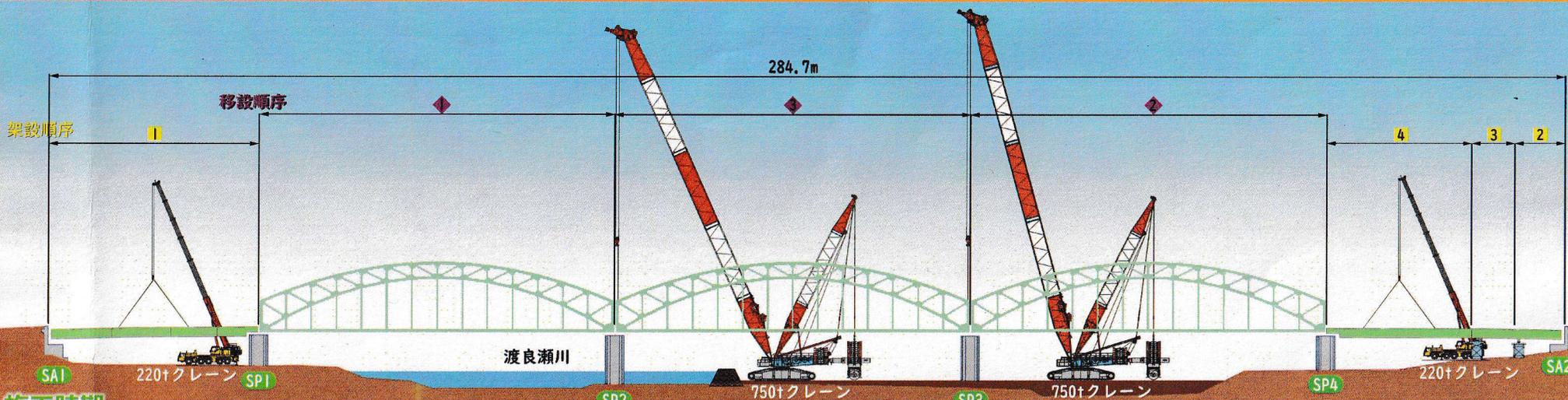


3・5・102号家富町堀込線中橋(仮称)上部工建設工事その1



施工時期

- ① 2024年11月初旬～
- ② 2024年11月下旬～
- ③ 2024年12月下旬～
- 2025年1月下旬まで

- ① 2024年10月中旬～
- ② 2025年1月初旬～
- ③ 2025年1月下旬～
- ④ 2025年2月初旬～
- ⑤ 2025年3月上旬～
- 2025年4月下旬まで

- ① 2024年11月中旬～
- ② 2025年2月下旬～
- ③ 2025年3月初旬～
- ④ 2025年3月中旬～
- ⑤ 2025年4月初旬～
- 2025年4月下旬まで

- ① 2024年11月下旬～
- ② 2025年2月初旬～
- ③ 2025年2月中旬～
- ④ 2025年2月下旬～
- ⑤ 2025年3月中旬～
- 2025年4月下旬まで

- ① 2024年12月初旬～
- ② 2025年1月初旬～
- ③ 2025年1月下旬～
- 2025年2月下旬まで

施工手順

側径間の施工

① 桁架設 工場で製作した橋桁をトレーラーで現場へ運び、クレーンを使って上図の架設順序で地組立・架設します。

② 床版コンクリート打設

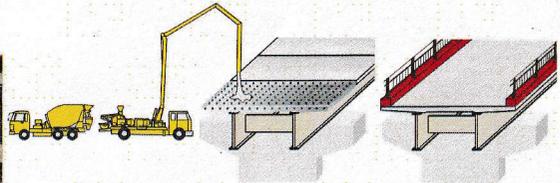
橋桁に型枠支保工を組み立てて、型枠の中に鉄筋を組み立てます。その後、コンクリートを流し込み床版が完成します

コンクリートを流し込む前の状態



③ 地覆コンクリート

地覆コンクリートを施工し、完成です



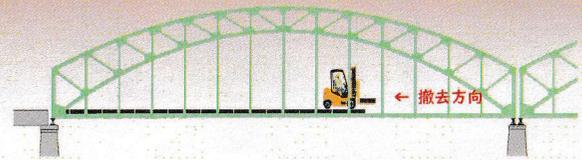
床版とは
床版は『しょうばん』と読み、橋の上を通る車両の重みを橋桁や橋脚に伝えるための床板(ゆかいた)のことです

地覆とは
地覆は『じふく』と読み、橋の側端部で橋面よりも高くなった部分のことをいいます。地覆の機能としては、橋梁用防護柵の基礎、雨水の導水、自動車等の逸脱防止等があります

アーチ橋の移設

① 既設部分撤去

古い舗装・床版・歩道部分を撤去し、アーチ橋を橋桁のみにします。図のように、古い床版はフォークリフトで運べるくらいに分割切断し撤去していきます

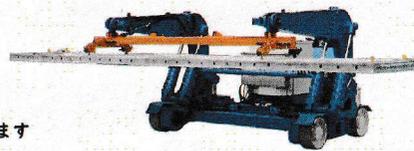


② クレーン組立

移設に使用する750tクレーンを組み立てます。1台を組み立てるのに約7日間かかります

④ プレキャスト床版設置

工場で製作したRCプレキャスト床版をトレーラーで現場に運び、アームローラーを使って橋桁の上に並べていきます。※右の写真は、プレキャスト床版を吊った状態のアームローラーです。この状態で、先に設置した床版上を走行します



③ 桁移設

現在架かっている3連アーチ橋を1連ずつ2台のクレーンを使用して、上図の移設順序で下流側へ約12.5m移設します。1連のアーチ橋重量は、約250tになります



⑤ 地覆コンクリート

プレキャスト床版とは、プレキャスト床版とは、工場で製作したプレキャスト部材を現場で接合させて一体化した床版です。※プレキャスト床版は、1枚あたり約6,000kgあります

発注者



栃木県 安足土木事務所

整備第一課 TEL.0284-42-5589

施工者



巴・東網特定建設工事共同企業体

現場事務所 TEL.0284-22-4183

